

【ウイング不同調（下げ作動時）修正方法】

下げ側不同調とは？

ウイングを下げた際、フロント側とリヤ側の下がるスピードがズレ、同調がとれていない症状。

パブコ基準では、前後差100mm以内であれば問題なしとしているが、状況により、下記方法にて修正は可能です。

1. 左右どちらが不同調なのか？またフロント及びリヤのどちらが早い（又は遅い）のか確認する。

2. 不同調発生側のウイングを全開にして下さい。
全開後、右図のように前後骨格に角材を当てて下さい。

角材： ×約500（長さ）

角材を設置したら、ウイングを下げ、ウイングルーフフレームに角材が当たるまで下げて下さい。

シリンダーが手で動くくらいがベストです。

注意：下げすぎると、ウイングルーフフレームの変形につながります。2名でタイミングよく行って下さい。

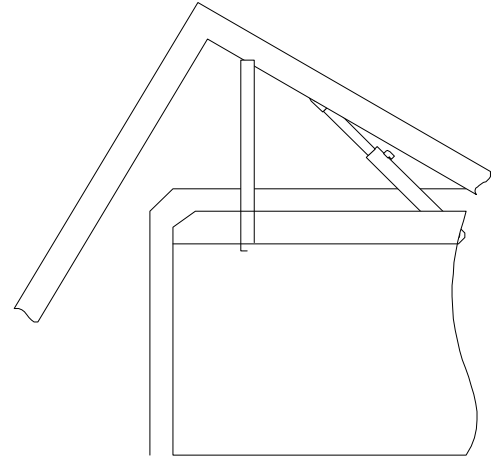


図1．角材の当て方

3. ウイングの下がり早い（または遅い）方のスローリターンバルブを交換します。

シリンダーの油圧ホース上げ側（クロ）を口金具ごと外して下さい。

スローリターンバルブをシリンダーから外し、バルブを新規に交換して下さい。

交換後、油圧ホースをバルブに接続して、締め込んでください。

現車を確認し、スローリターンバルブに何の打刻が打ってあるか確認しておく。

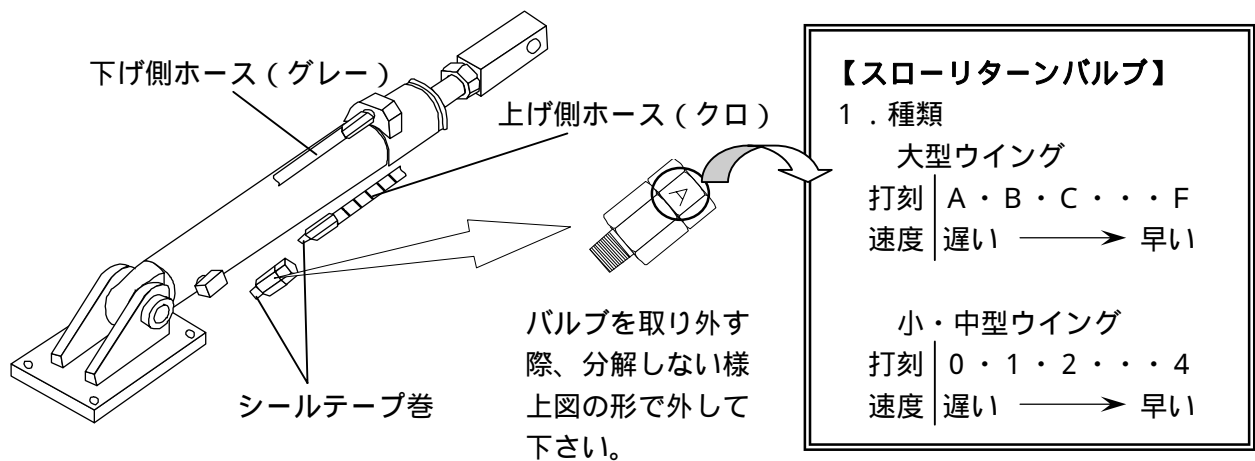


図2．スローリターンバルブ位置と種類

4. バルブ交換後、ウイングを何回か上下させて下さい。

（角材を外す際、一旦上げて取り外す。）

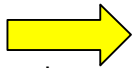
交換後、不同調が改善しましたら、緩みまたはオイル漏れがないか確認し、ユニット内のオイル量を確認し、少ないようであれば追加して下さい。


交換後、不同調が改善されない場合は、3. のバルブを再度交換し、ウイングを何回か上下させ、目視にてほどよいスピードに調整して下さい。

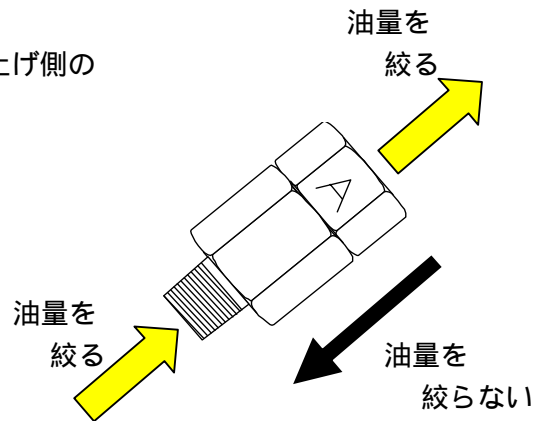
* スローリターンバルブの機能と構造

機能

1、スローリターンバルブは、ウイングシリンダーの上げ側の配管挿入箇所が付いています。

右図のように  方向の油圧を絞ることが可能です。

逆に  方向の油圧を絞らないのが特長です。



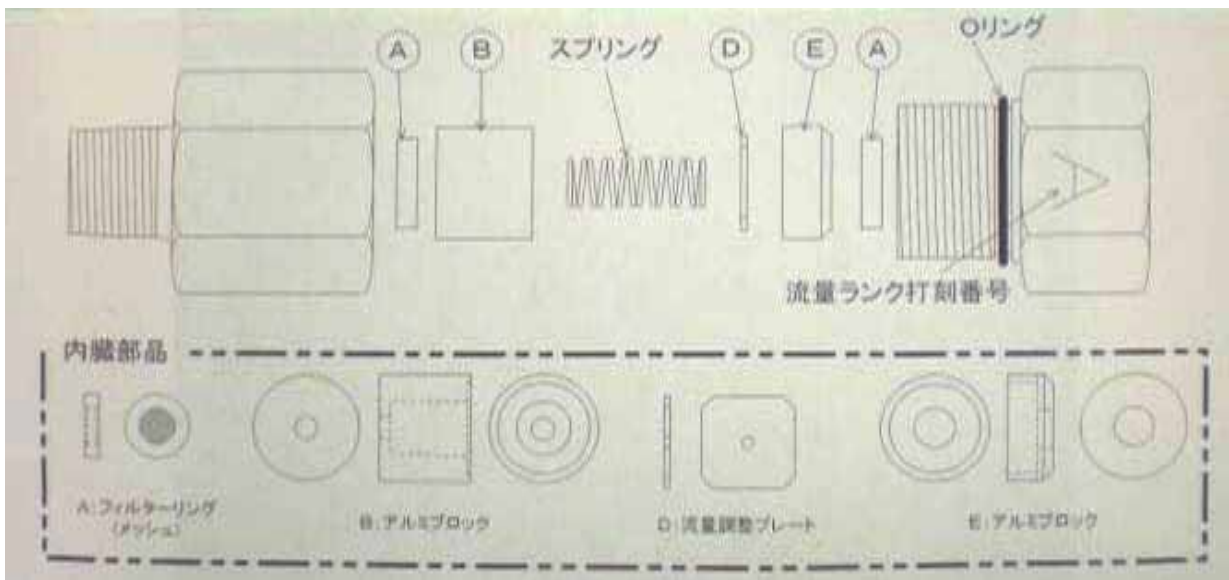
2、流量のランクは本体の打刻印によって絞る量が変わります。

中型・小型	0	1	2	3	4	5	6
大型	A	B	C	D	E	F	G
				遅い			早い

スローリターンバルブの構造

1、バルブ内は、下図の様に細かい部品が内蔵されています。

2、内部のスプリングを使用し、D：流量調整プレートで流量を調整しています。



注意！ スローリターンバルブを分解すると流量が変わってしまう可能性があります。
バルブを分解することは避けて、取り扱いに注意下さい。